

| 特集 | Feature 01

倉敷芸術科学大学は 地域の今を デザイン中

SDGs

倉敷市日本遺産

JUMP 新世界漫画賞

LGBT

スクール探偵団ふいーるねおねお

倉敷駅130周年記念

ゲーム開発

マイ・タイムライン漫画

| インタビュー | Interview

芸科大生の まじめなリアル

どんな時だって今を楽しもう。
未来の自分のために!



SDGsモデル事業

✕ 雑紙分別紙袋 倉敷市が雑紙のリサイクルを進めるための分別用紙袋を制作



木村 友香

- 1 [担当] イラストとデザイン
- 2 [学部学科] 芸術学部 / メディア映像学科
- 3 [どこ・なに由来] 倉敷市SDGsモデル事業
- 4 [出身校(出身県)] 総社南高校(岡山)

紙のリサイクルが最終的に樹木および自然保護に繋がっているということをイメージしてデザインしました。また、分別できる雑紙が「何か」を伝えるため、誰が見てもわかるように、複雑なデザインではなくあえて馴染みやすい単純なイラストを描きました。



地域につながるわたしの学び
Design!

地域デザインの今を

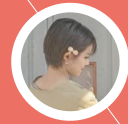
私たちの学びは、試作や練習ではなく実践として街にリアルに届いています。ただ依頼を受けるのではなく、試行錯誤して企画提案にも挑戦しています。そんな活躍の一部をご紹介します。

倉敷芸術科学大学は、

倉敷市日本遺産推進協議会

✕ デザインマンホール

JR倉敷駅前の複合施設「あちてらす倉敷」に倉敷市日本遺産をテーマに描いたマンホールふたを設置



正本 佳穂実

- 1 [担当] イラストとデザイン
- 2 [学部学科] 芸術学部 / デザイン芸術学科
- 3 [どこ・なに由来] 倉敷市
- 4 [出身校(出身県)] 総社南高校(岡山)

デザインする上で配慮した点は、道を歩いていて自然と目に飛び込んでくるような明るい色調にしたことと、読み取りやすい文字を入れたことです。イラストだけのデザインより、文字情報があった方がみた人に覚えてもらいやすいと考えました。



受賞マンガはコチラから！

週刊少年JUMP

「JUMP新世界漫画賞」受賞
✕ 『腐っても美男美女』 月例の新人募集企画で受賞し『少年ジャンプ+』に掲載



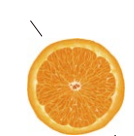
柳井 郁 (ペンネーム)

- 1 [担当] マンガ制作(卒業制作作品)
- 2 [学部学科] 芸術学部 / メディア映像学科
- 3 [どこ・なに由来] 週刊少年ジャンプ(集英社)
- 4 [出身校(出身県)] クラーク記念国際高校(岡山)

この作品は様々なコンプレックスを扱った5つの短編を収録した漫画雑誌です。その中でもこの作品は劣等感という私にとって最も身近なものを扱いました。だからこそ今作の主人公が出した現実的だけど前向きな答えには自分自身も救われたような気がしました。

教育委員会

✕ 「保護者に知ってほしい多様な性」リーフレット 性的少数者(LGBT)や性の多様性への理解を広げてもらうための保護者向け冊子



清水 友梨香

- 1 [担当] 表紙デザイン
- 2 [学部学科] 芸術学部 / メディア映像学科
- 3 [どこ・なに由来] 倉敷市教育委員会
- 4 [出身校(出身県)] 岩国高校(山口)



多様な性や心を色とりどりのハートで表現。ハートに向う手はサポートする社会の人々や理解をつかみ取る本人の手を、包み込むリボンはずべてのものをやさしく「結ぶ」ことを表現しました。



国土交通省

✕ 「要配慮者版マイ・タイムライン」漫画

西日本豪雨で被災した高齢者の体験をもとに要配慮者用防災行動計画(タイムライン)の必要性を訴える漫画を制作



中務 日向子

- 1 [担当] 漫画のストーリーとイラスト
- 2 [学部学科] 芸術学部 / メディア映像学科
- 3 [どこ・なに由来] 国土交通省 高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所
- 4 [出身校(出身県)] 因島高校(広島)



実際に真備町地区で被害に遭われた高齢の女性に取材をして制作にあたりました。さまざまな理由で、要配慮者の方々が避難に勇気があることがわかりました。この漫画で理解と支援の輪が広がることを願っています。

コミュニティケアセンター ライフタウンまび

✕ eスポーツでリハビリプログラム

高齢者の認知・身体機能の維持や向上に向けてeスポーツを利用したリハビリプログラムを開発



城木 優香・岩城 裕大・大塚 翔人・川上 諒

- 1 [担当] ゲーム開発
- 2 [学部学科] 芸術学部 / メディア映像学科
- 3 [どこ・なに由来] ライフタウンまび
- 4 [出身校(出身県)] 東稜高校(熊本)・玉島高校(岡山)・矢掛高校(岡山)・岡山理科大学附属高校(岡山)

利用者が実際に楽しむ姿を見ると、とても嬉しいです。難しいという声をいただいた時はどう改善すべきかとやる気が出ます。少しでも利用者の心身の健康に繋がることになれば嬉しいです。



JR西日本

✕ 倉敷駅130周年記念イベントの黒板アート

「黒板アート×3DCGプロジェクションマッピング」を企画提案し採用 AR技術を活用し、黒板アート上に列車や火花が飛び出るよう細工



永瀬 夢菜・木村 友香・多木 満理奈

- 1 [担当] 企画・制作
- 2 [学部学科] 芸術学部 / メディア映像学科
- 3 [どこ・なに由来] JR西日本 倉敷駅
- 4 [出身校(出身県)] 岡山工業高校(岡山)・総社南高校(岡山)・福山葦陽高校(広島)

電車のAR画像は3DCGモデリングする際、古い車体の資料が少なく情報収集が大変でした。黒板アートの発色の良さ、細部まで作り込んだAR電車の飛び出る映像を倉敷駅でぜひ体験してみてください！



改札入ってすぐ右手！AR映像を体験しよう

岡山県

啓発アニメーション動画
✕ 「スクール探偵団ふいーるねおねお」

岡山県のアイドルユニット『feeINEO』をキャラクターモデルとしたスマホやインターネットの適性利用啓発に関する子供向けアニメーション動画
キャラクターデザイン:非常勤講師 山下真末先生(本学卒業生)



田丸 和・清水 友梨香・田村 宙斗

- 1 [担当] アニメ制作
- 2 [学部学科] 芸術学部 / メディア映像学科
- 3 [どこ・なに由来] 岡山県
- 4 [出身校(出身県)] 鳥城高校(岡山)・岩国高校(山口)・水島工業高校(岡山)

私にとって、作った映像に初めて声を当ててもらったことができた作品でした。声優を務めていただいたfeeINEOの皆さんのキャラクターや、話し方のテンポに合わせて映像を修正することもあり、大変でしたがとても楽しい制作でした。



アニメ視聴はコチラから！

どんな時だって今を楽しもう。未来の自分のために!

スキブキ INTERVIEW

2020~2021年のコロナ禍を乗り越え、学内活動を続けてきた生命科学部の2人の先輩にインタビュー! 芸科祭実行委員会の活動を通じ、共に過ごした4年間を振り返ってもらいました。

② 芸科祭実行委員会とは?

主に芸科祭の運営。年間を通して、1年に1回開催する学祭に向けてイベントの進行管理を一から作り上げていく。



YURITA RISA 百合田 里彩

生命科学部 4年
芸科祭実行委員会 会計
愛媛県立宇和島南中等教育学校

大学生活って?
苦しいことも
楽しいことも
全部経験値!



NAKAMURA YUKA 中村 友香

動物生命科学部 4年
芸科祭実行委員会 委員長
岡山県立倉敷天城高等学校

大学生活って?
たくさんのご縁、
つながりを
いただいた時間

自分たちの思いと 学校側の協力で

コロナ禍開催を実現!



—— 2020年、2021年とコロナ禍の真っ只中に大学生活があったわけですが、芸科祭は開催できたのでしょうか。

百合田(以下Y):自分たちが1~2年生の時は通常開催、3~4年生のコロナ禍では規模は小さくなりましたが開催しました。

中村(以下N):私はそのコロナ禍開催になった3年生で委員長をやったんですが、お客さまにもちゃんと来ていただきました。

—— コロナ禍の開催、大変だったんじゃないかと思うんですが、学校からの反対は?

N:反対もあったと思います。自分たちはこう考えているんですけど、どうでしょうかと学校側へ打診するところから始まり、やるかどうか、他の学校さんはどうなのか、様々な状況を加味しつつ考えました。学長の最終決定で開催の許可が出たときは、その判断に恥じないようにしっかりと感染対策をして運営していこうと、気持ちが引き締まる思いでした。

—— やらない前例を作ってしまうと、今後、全部やらないっていう方向になりそうですね。

N:その年に実行委員会に入ってくれた1年生が何も経験せずに2年生に上がると、大変だろうなと思いました。規模を縮小してでも、例年と同じじゃなくても、「芸科祭」をやったという経験を1年生にはしてほしかったというのがあります。

—— ちゃんと後輩のことを考えて…… 委員長として適切に判断して、しっかり牽引されている印象です。

N:自分一人でやっていただけじゃなくて、先生も含めてですけど、同期とか友達とか先輩にも恵まれて、一人で溜め込まずにわかんなかったら頼る。他の人の意見を聞く。それができる環境ですごくありがたいなと思います。

まるで会社!? 学内外の 人々と連携しながら ステージを作り上げる。



—— 4年間の活動で印象深い思い出は?

Y:私は、通常開催の2年生の時にステージ責任者をやらせてもらったことです。本来は3年生がメインでやるのですが、その時は3年生の先輩が少なくいろんな仕事を掛け持ちでやっていた大変そう。1年生はわからないからついていけなくて、これは2年生の私たちが支えなければという使命感で、協力し合って無事開催を成し遂げました。その時の団結力はすごかったです。今でも心に強く残っています。

—— 共に乗り越える連帯感と、成し遂げた達成感!

Y:学祭が終わったら最後に花火が上がりますが、その時、先輩が泣いて、それを見た私たちが「あーせんば〜!!(涙)」ってなっちゃいましたね。

N:先輩を支えつつ、後輩の面倒を見つつ、コロナ禍前の2年生の時が一番元気があったかもしれません。自分たちの学年の中でも一番ぶつかっていた時代でした。

Y:責任者をやっていると忙しくてピリピリして冷戦みたいになって。疲れてストレスがたまって、言いたくないことも言ってしまうのでお互いに黙っていました。

N:でも逆に、事態がうまく転がった時には、自分以上に周りが喜んでくれたんですよ。

—— 決して、嫌で話さないというわけじゃないですもんね。イベントの運営やステージの進行管理を中心に、そういった仕事の経験をする中で、友達とぶつかったり協力したり…… 中学高校では味わえない大きな経験ですね。

N:学内だけではなく、外部の企業さんであったり地域の方であったり、様々な分野の大人の方と関わる機会もたくさんありました。

—— 具体的にどんなやりとりがあるんですか?

Y:パンフレットに協賛広告を出していただいただけませんか? とお願ひするとか。例年お世話になっている方への挨拶はもちろん、新規の方を獲得するために、企業さんへ営業活動します。

N:ステージを作ってくださいイベント会社さんとも打ち合わせをして、「なんとかこの予算内に収まるようにできませんか?」と交渉もします。芸科祭の最後に上げる花火の会社や、安全管理のために消防や警察の方とも調整を行います。進行が滞らないように、判断は極力早めにつつ慎重かつ丁寧に。
—— めちゃくちゃ鍛えられましたね。

大学生は自由と責任。どんな時も諦めず 学んで遊んで様々な経験をしてほしい。



—— 最後に、これから大学生になる高校生へのメッセージをお願いします。

Y:高校時代より責任は増えますが、その分、自由度が上がります。学びながら楽しい時代を過ごしてください!

N:責任は必要だけど大学生にはフットワークの軽さがあると思います。いろんな経験を積みながら思いっきり楽しんでほしいです。芸科祭実行委員会は大変なことあったけど楽しいことも多く、いろんな経験ができるので、みなさんもぜひ入ってくれたら嬉しいです。

—— コロナ禍元年とも言える2020年当時の大学の様子は?

N:オンライン授業になり、当時は先生も学生も慣れていなくて混乱しました。オンライン越しの実習は実際にやっているわけではないし、どうやったらこの時間を自分に還元できるのか試行錯誤していましたが、約1ヶ月後のわりと早い時期に対面授業が再開しました。

Y:大学が小高い山の上という立地や、学生数など規模的な面でも、対面再開が早く叶った理由の一つのなかなと思いました。最初は不安でしたが、実習もすぐできるようになり本当に良かったです!

